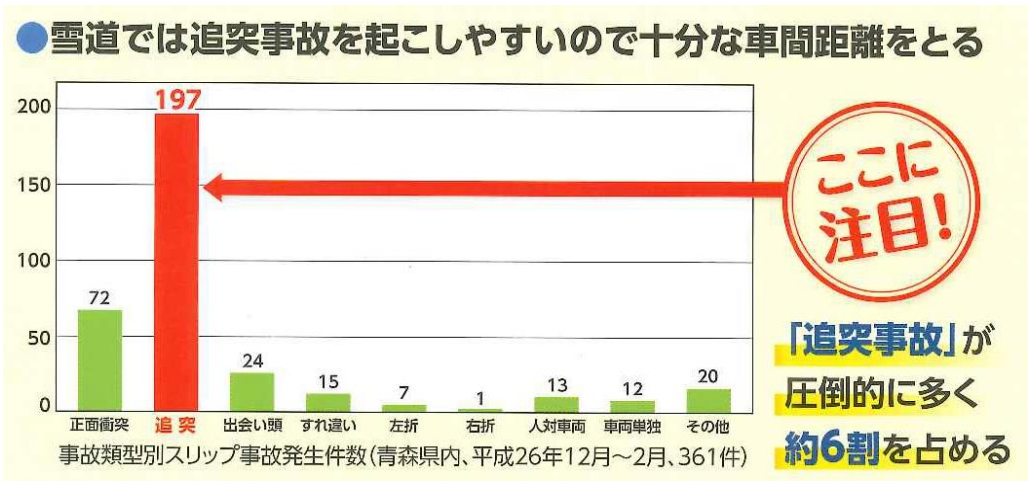
2月号
（発行日）
2018年2月1日
（発行元）
大日倉庫㈱

大日倉庫 安全ニュース

今月の重点管理目標－雪道走行の事故防止－

1 車間距離を十分にとり追突事故を防止する

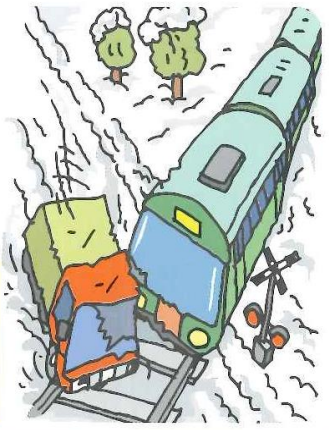
雪道では、スリップによる追突事故が多発します。
前車との車間距離を十分にとり、急ブレーキなどの「急」のつく運転操作はしないようにしましょう。



事故事例に学ぶ

踏切内でスリップして脱輪、列車と衝突

2014年2月、栃木県の東武日光線の踏切で、トラックが踏切内の積雪のためスリップして脱輪、普通列車と衝突しました。運転者は退避して非常ボタンを押しましたが衝突を回避できませんでした。
乗客に負傷者はなかったものの、列車は現場で2時間立ち往生しました。



教訓 雪道でのスリップは大事故に結びつくのでブレーキは慎重に操作する

2 早朝、夜間のスリップ事故を防止

橋梁部分や高架道路などは、早朝や夜間に温度が低下して道路が凍結することがあります。
早朝や夜間に走行する運転手には、橋梁部分などではスピードを落として、スリップ事故に注意して走行するようにして下さい。

3 安全情報マップの作成

早朝、凍結しやすい路面など運転者が日々の走行で危険と感じる箇所について意見を集め、どのような危険があるのか、どのように走行したらよいかを記した安全情報マップを作成しましょう。

事故防止のヒント

道路脇でチェーンを装着しない

雪道でチェーンを装着するとき道路脇で作業する人がいますが、後続車が避けきれずに追突することがありますので、絶対にやめてください。
チェーンは「チェーン脱着場」で装着しましょう。